

意見交換会実施報告書

令和7年7月22日

裾野市議会議長 様
広報広聴委員会委員長 様

報告者

1. 意見交換会の概要

開催日時	令和7年7月10日	10時00分	～	12時00分
開催場所	裾野赤十字病院会議室			
代表者 (委員会名)	厚生文教委員会			
出席議員	二ノ宮善明、内藤法子、井出悟、増田祐二、大橋勝彦、小林浩文			
参加市民数 (団体名)	8人 (裾野赤十字病院)			
実施内容	議会報告			
	意見交換	裾野赤十字病院の施設老朽化、経営状況、医師確保の課題等に関し意見交換を行った。		

2. 市民の質問・意見等

質問と回答など	<ul style="list-style-type: none">・患者アンケートからも病院建物に対する意見があるが、1ベッド1億円の経費を要するといわれる中で、内部留保資金がなければ計画をスタートすることはできない。・安定的医療の提供、経営は医師確保と直結している。医業収支を黒字化しているが、固定経費を考慮し、職員配置とのバランスに苦慮している。・大学の医局からの医師派遣も困難になっている。非常勤の医師を確保して何とか乗り切っている状況。専門医よりも総合内科医を必要としている。・奨学金制度のインセンティブが本当に機能しているのか疑問。・地域医療を確保していくために、医療の在り方検討会での意見を踏まえ、市と医療機関が協議検討する場を継続していくことが必要である。
---------	--